

1 教職員の働き方改革について

- (1) 学校をよりよい教育の場にしていくためには、教職員を増やし、異常な長時間労働の是正を図るべきである。長時間労働を生みだした根本問題をどのように認識しているか。
- (2) 教員の授業負担、業務の増大や学校がかかえる課題の増加が教職員の多忙化に拍車をかけていると言われている。現状について伺う。
- (3) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の法律が長時間労働を野放しにしていると考えるが、見解を。また、労働時間をどのように把握しているか、実態はどうか。健康管理の対応についても伺う。
- (4) 産休や育休、病休などの教員の代替配置の実態はどうか。
- (5) 教員の長時間労働対策として「1年単位の変形労働時間制」の導入が検討されているが、長時間労働の是正になるか疑問を感じる。見解を示されたい。
- (6) 長時間労働の改善を図るために国や県に要望することは何か。この間、市独自としてどのような改善策を図ってきたか。今後の課題について伺う。

2 自治体職員の雇用と働き方について

- (1) 「会計年度任用職員」は、地方自治体の非正規職員の雇用形態に関するもので、2020年度から全国的に新たに導入される制度である。政府は国会審議でも「非正規職員」の処遇改善を目的のひとつにあげている。一方で「非正規職員」として働く人たちの労働条件を不安定なまま働かせることが可能とも言われている。
 - ① 「会計年度任用職員」制度をどのように受け止めているか。
 - ② 現在の臨時・非常勤職員数と男女別は。制度導入後はどうなるのか。

- ③ 賃金・手当・労働条件の保障、期末手当の支給、再任用時の「空白期間」の是正をすべきだがどうか。
 - ④ マニュアルには、「常勤の職は管理的業務や権力的業務が想定される」とある。それ以外の多くの正規職員が会計年度任用職員に置き換えられることが懸念されるがどうか。
 - ⑤ 制度導入にあたって職員組合や臨時・非常勤職員当事者との協議をどのように進めるのか。
 - ⑥ 市議会への条例の提案時期について伺う。
- (2) 合併時の正規一般職員と非正規職員それぞれの比較は。
 - (3) 定員適正化計画における職員の検証、見直しはどのように行われてきたか。また、正規一般職員の年齢構成について伺う。
 - (4) 市民要望にこたえる道路河川、環境、水道直営部門を維持し、人員削減を行うべきではない。見解を。
 - (5) 幼保再編計画の中で正規雇用率の向上をうたっている。しかし、非正規雇用が約5割となっている。正規職員の拡充で幼児教育、保育の充実が求められている。現状をどう認識しているか。今後の取り組むべき課題は何か。
 - (6) 市役所の外国人労働者の雇用状況と新たな受け入れ拡大について伺う。また、市職員が企業訪問する中で、外国人技能実習制度に基づく外国人労働者の実態をどのように把握しているか。
 - (7) 国は、放課後児童クラブについて、職員配置数や資格を定めた国の基準を事実上、廃止する方針を打ち出した。安全・安心な場所を保障するためにも「従うべき基準」を堅持すべきではないか。市の今後の対応について伺う。

3 指定管理者制度について

- (1) 現施設の検証はどのように行われたか。評価と課題は。
- (2) マニュアルの見直しはどうか。
- (3) 労働者の労働条件について労働環境モニタリングを行うべきではないか。また、賃金に対する認識は。
- (4) 国や地方自治体の事業を受託した業者に雇用される労働者に対し、地方自治体が指定した賃金の支払いを確保させることを規定している公契約条例の制定を視野に検討する考えはないか。
- (5) 新たな施設への導入について伺う。